

私が好き、仲間が好き、ふるさとが好き ～みんなちがって、みんないい～

吉川小学校放課後子ども教室：うなお学校（香南市）

1 基本データ（平成27年度）

- 対象校区：香南市立吉川小学校（全校児童数55名）
- 開設年度：平成22年度
- 開設日数：年間134日開設（週3日：月・水・金実施）
平日：114日
長期休業期間：20日（夏休み17日、冬休み3日）
- 開設時間：平日 14:30～17:30
※10～3月は17:00まで
長期休業期間 14:00～17:00
- 主な活動場所：吉川小学校北舎西端教室
- 参加児童数：平均20名/日・登録52名（希望申し込み制）
1年生11名、2年生9名、3年生5名、
4年生9名、5年生11名、6年生7名
- 支援者数：平均配置人数4名/日・スタッフ総数10名
コーディネーター1名、教育活動推進員5名、
ボランティア4名



【うなお学校】の由来

吉川町の特産品として有名な「ウナギ」がモデルのキャラクターからヒントを得て、子どもたちが「うなお学校」の名称を考えました。



2 活動の流れ

【平日】

- 14:00～ 子ども教室スタッフ出勤
活動準備
- 14:30～ 児童下校開始
荷物整理
宿題
自由遊び（室内、屋外）
- 17:10～ 掃除（※水曜日のみ）
- 17:20～ 片づけ・かえりの準備
- 17:25～ かえりの会
- 17:30 子ども教室終了

【長期休業期間】

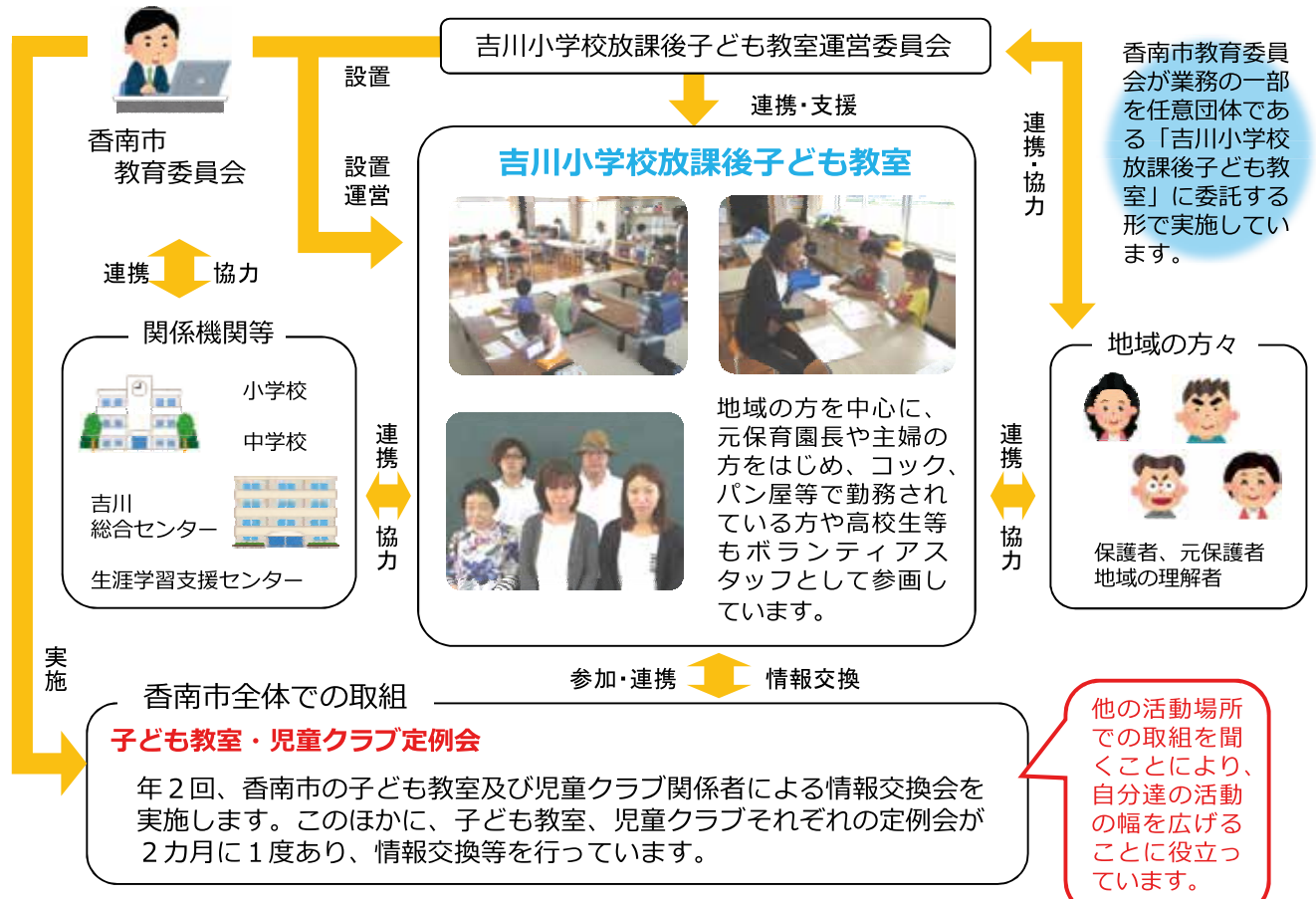
- 13:30～ 子ども教室スタッフ出勤
活動準備
- 14:00～ 児童受入開始
自由遊び、体験活動
- 16:50～ 片づけ・かえりの準備
- 16:55～ かえりの会
- 17:00 子ども教室終了



活動場所の入り口には、子どもたちが考えた「うなお学校」のプレートがあります。



3 運営の仕組み



■運営委員会について

香南市教育委員会が運営委員を委嘱し、年2回程度吉川小学校放課後子ども教室の運営方針について話し合います。

運営委員：学校長、PTA会長、吉川市民館長、若竹子ども会代表、民生・児童委員、香南市教育委員会、子ども教室コーディネーター



4 コーディネーターの横顔



コーディネーター
高見 明美さん

活動例

- 13:00～ 学校長との情報交換
- 14:00～ 子ども教室へお便り等作成
- 17:00～ スタッフとの打ち合わせ書類整理

問1:お仕事はされていますか？

答1：地元で塾講師をしています。元教え子が、現在子ども教室に来ている子どもの保護者になっていることもあります。

問2:活動をはじめたきっかけは？

答2：子ども教室を立ち上げる際、知り合いのPTA役員の方から声をかけられたのがきっかけです。



問3:開設当初に比べ大きく変化した点は？

答3：子ども教室と学校との関係が変化したと感じています。初期は何事にも手探りで、どのように関係づくりを進めたらいいのか悩んだ時期もありました。私達の活動場所では、学校に学習支援員としてかかわっていた方が子ども教室のスタッフとして加わってくれたことをきっかけに、関係づくりが少しずつ進みはじめたように思います。

問4:コーディネーターと教育活動推進員を兼任していますが？

答4：子ども教室で子どもとかわる中で、子どもたちのことをよく知る機会をもつことができます。それが、学校をはじめとする各関係機関との情報交換等の際に役立っていると感じます。

5 活動の様子

宿題・自主学习

子ども教室に来ると、まず宿題を行います。その際には、自主学習の習慣を育てる観点から、学年ごとの目標時間を目安に取り組むようにしています。

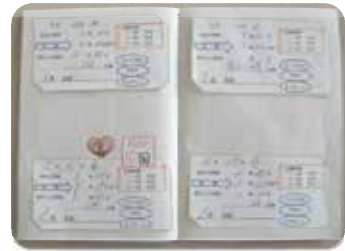
学校が取り組んでいる目標時間を目安とすることで、子ども教室でも学校と共通した声かけをしやすくなっています。

子どもたちは「今日は16時30分までがんばるぞ。」等、意欲的に時間いっぱい頑張ることができています。

子ども教室オリジナルの下敷きです。子どもたちに人気で学習時に利用する様子が多く見られます。



毎日の取組時間をしっかり記録！回数が増えることが、子どもたちの意欲や自信につながっています。



児童ごとの学習記録ノート。5回達成するごとに好きなシールを貼ることが出来るため、人気のシールはいつも競争になります。

子ども教室でもプリントを準備し、自主学習の際に子どもたちがいつでも手に取れるように並べています。

自由遊び

宿題が終わると自由遊びの時間です。外遊びでは校庭（雨天時は体育館）でドッチボールや一輪車などを楽しみます。室内では読書や押し花作りなどを楽しみます。



「どこで切ろうかな、、、」友達の様子を観察したり、一緒に楽しんだり、押し花作りはとても魅力的な活動です。



かえりの会

17時20分からかえりの会を行います。子どもたち、スタッフそれぞれから当日の活動について報告があった後に、手話や体操などをみんなで取り組んでいます。繰り返し楽しみながら取り組む中で、自分の名前を手話で伝えたり、お互いに教えあう様子も見られるようになっていきます。



子どもと大人が子ども教室についての意見を出し合える場となっています。

学校からの声



吉川小学校長
村神 多賀良

家庭学習は子どもたちに身につけてほしい習慣のひとつです。家庭学習をはじめ、学校と子ども教室が協力して、子どもたちのよりよい生活環境を作っていければと思います。

【学校行事への協力】



学校の授業で取り組んでいる餅つきには、保護者と一緒に子ども教室のスタッフもボランティアで参加しています。必要に応じて先生のお手伝いや片付けなどのお手伝いをすることもあります。

6 イベントカレンダー

吉川小学校放課後子ども教室では主に長期休業中にイベントを実施しています。平成27年度は夏休み期間中に4回実施しました。

月	日	活動名
8月	5日	16ミリフィルム映写会
	17日	ペットボトルロケット飛ばし
	21日	エコライフゲーム
	24日	おもしろ算数教室



<エコライフゲームの様子>

イベント開催については、NPO法人高知県生涯学習支援センターが作成している「**楽しく学べる出前講座手引き書**」を活用しています。

メニューの中から子どもたちが楽しめそうな講座を選び、講師派遣について依頼し、実施しています。



<16ミリフィルム映写会の様子>

過去には紙すき体験教室も開催し、子どもたちが自分で紙作りに取り組みました。



7 地域で協力してつくる子どもの居場所づくり

香南市吉川町では、子どもたちの放課後における居場所づくりとして、放課後子ども教室だけでなく、その他の機関でも取組を実施しています。各関係機関が協力・連携することにより、吉川町の子どもたちの育ちを地域全体で支援しています。

吉川総合センターについて

吉川総合センターは、地域住民の基本的な人権を尊重し、地域社会に密着して各種相談窓口や福祉活動などを行う吉川市民館業務を始め、様々な文化活動、健康の維持増進、憩いの場など、幅広く活用されています。

そうした活動の中には、子どもたちの放課後の居場所を支援する児童館や若竹子ども会の取組もあります。



【児童館の取組】

放課後の安心・安全な居場所のひとつとなるよう子どもたちの受け入れを行っています。

【開館日】毎週月曜日～土曜日

【時間】8:30～17:00

(申し出に応じて18時まで対応)

【内容】自由遊び、壁面製作等



【若竹子ども会の取組】

若竹子ども会では、地域の方々の参画を得て、火曜日と木曜日の放課後の時間帯に子どもたちを対象とした取組を行っています。

【開催日】火曜日(高学年を対象)、木曜日(低学年を対象)

【時間】火曜日16:00～17:00、木曜日15:15～16:00

【内容】人権学習、地域学習(太鼓・獅子舞)、なかまづくり(芋植え、レクリエーション、文化祭の作品作り等)

子ども教室との連携について

運営委員会等でそれぞれの代表者が関係づくりを進めるだけでなく、現場の担当者間でも連絡をとりあい、イベントを実施する際は日程が重ならないよう調整し、お互いの活動への参加を子どもに促すなど**子どもたちを中心に**おいた連携をとっています。

